



Man to Man Boarding School

MMBS

グラママー（文法）コース

4週間で英語スキル0からの脱出

なぜ、英語を話すのに文法が必要なのか？

多くの人々が新しい言語を習得する時に文法が大切なことは知っています。しかし、英語留学では「文法は日本で勉強して、(フィリピン)留学ではスピーキングを重点にすればいい」と言われることが多いのですが、本当に出来るのでしょうか？

よほど努力する人でないと日本にいる時に一人で文法の勉強は出来ません。それに、日本にいても一人で勉強が出来る人はすでに英語は話せるようになっているはず。もちろん、そういう人は留学でスピーキングに重点を置いてもいいでしょう。

さて、もう一度質問を致します。あなたは文法の勉強を日本で出来ますか？

例えば、中学校、高校と最低でも6年間は英語を勉強したのににもかかわらず、英語が出来ない。

例えば、英語の参考書をたくさん持っているのに、英語が出来ない。

例えば、英会話の先生と話している時、難しい話になると理解が出来ない。

例えば、TOEICのテストを何度受けても、600点を超えられない。

これはすべて、文法の勉強が出来ていないからではないでしょうか。

文法は文の骨組みです。日本語と英語の文法は違います。**文法を学ぶことはとても重要です。**

文法が正しくない英語はブローケンイングリッシュです。ただの**単語の羅列**でしかありません。あなたはメチャクチャな日本語を話す外国人を見たことはありませんか？ 文法を疎かにして、スピーキングで覚えた英語はそうなるのです。本人はちゃんと話している気ですが、英語が母国語の人にとっては、単語を並べただけの文法がメチャクチャな会話は聞くに堪えません。

あなたは文法の勉強をしないで、英語に慣れるだけの留学で良いのですか？

わざわざお金を出して留学するのに、単語の羅列の会話で良いのですか？

MMBSでは常に言っています。「**文法はフィリピンに留学してから勉強すればいい**」と。

「勉強に集中できる環境になってから、文法をきちんと教えてくれる先生と、仲間と一緒に勉強すればいい」と。

文法を習得した後はスピーキングでも、ライティングでも、正しい文法を使って勉強することが可能になるからです。

コースの特徴

ビギナー(英語初心者)が4週間で英語の基礎となる文法を習得するコースです。

(通常、同じ教科書を使用して1日2時間勉強すると約3ヶ月かかります)

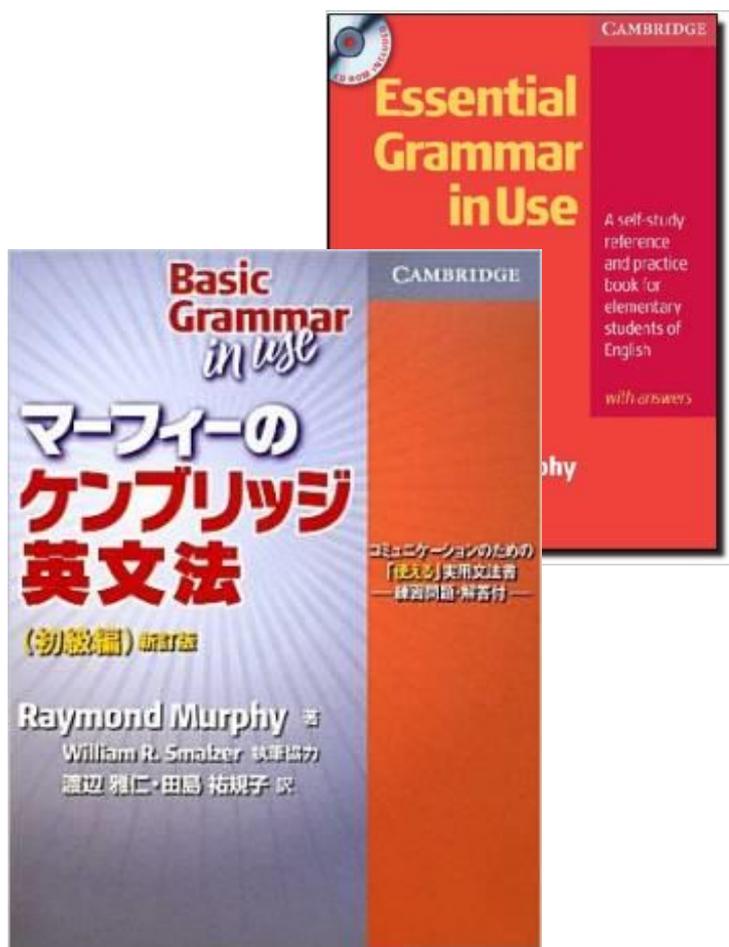
どんな人におすすめなのか？

- ▶ **英語のスキルが0な人！**
→日本語訳のある教科書を使用するから理解が早いです。
- ▶ **4週間で基礎文法を勉強したい人！**
→最初の4週間で文法を学ぶので残りの留学期間が有意義に使えます。
- ▶ **1から勉強をしたい人！**
→文法が所々抜けて分からないなら最初から見直します。
- ▶ **留学する時間が限られた人！**
→4週間で一通りの会話に必要な文法が習得出来ます。
- ▶ **一人では勉強が出来ない人！**
→同じレベルの仲間と一緒に頑張れます。
- ▶ **早く文法の勉強を終えたい人！**
→4週間、文法の勉強だけに集中します。
- ▶ **今まで何度も英語の文法で挫折した人**
→自学、マンツーマン、グループ、実践といろんな授業スタイルで文法の理解を促します。



最初の4週間で基礎文法を習得して、残りの留学期間を自分の勉強したい事に使いましょう！

使用教科書は世界中から信頼されている文法書



●Essential Grammar in USE

1990年に出版されたこの本は年々改訂され、現在はほぼ完璧な文法書として世界中の英語教育界から推進されています。

●マーフィーのケンブリッジ英文法

上記の本に日本語訳を付け、初心者でも理解しやすくした本です。

※教科書は日本語訳のある教科書を使用致します。

【お勧めポイント!!!】

- ▶ 世界中で一番使用されている文法書
- ▶ 基礎はもちろんのこと重要なことが簡単な単語とイラストで説明
- ▶ 日本の中学、高校の文法を完全カバー
- ▶ 文法は文法の規則に厳しいイギリス英語を用いた文法書
- ▶ 文法を基礎からやり直したい方に最適な情報量
- ▶ ネイティブの細かい言い回しも記載
- ▶ 日本の英語授業では違いの説明をしないMust と Have to や will と be going to の違いなども細かく解説

授業のタイムスケジュール

	授業内容
7:00 - 8:00	朝食
8:00 - 9:00	マンツーマン授業(文法A)
9:00 - 10:00	
10:00 - 11:00	グループ授業① (文法Aの練習問題を用いて確認と復習)
11:00 - 12:00	グループ授業② (文法Aの応用問題で確認と定着)
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 14:00	マンツーマン授業(文法B)
14:00 - 15:00	
15:00 - 16:00	グループ授業① (文法Bの練習問題を用いて確認と復習)
16:00 - 17:00	グループ授業② (文法Bの応用問題で確認と定着)
17:00 - 18:00	夕食

マンツーマン授業: 文法を学び理解する授業

- ・日本語で予習した内容を英語で理解する

グループ授業①: 理解の確認をする授業

- ・文法が理解出来ている
→引き続き練習問題
- ・文法が理解出来ていない
→再度説明を行い、理解を促す

グループ授業②: 定着を促す授業

- ・会話の中で実際に文を作成する

- ▶ マンツーマンの文法クラスを担当する講師は文法専門の講師のみで、2時間同じ講師が責任を持って担当致します。(マンツーマンの文法クラスは4時間ある為、2名の担当講師が付きます)
- ▶ グループ授業では他の学生と理解した内容を話し合うことにより理解を深め、また講師から文法の補足もします。
- ▶ 実際に文を作ることにより、会話の中で文法を習得・定着させます。
- ▶ 学習よりスタイルを変えたり、時間差で何度も同じ文法を勉強することに、その日のうちに理解習得を図る。

マンツーマン授業（文法）スケジュール

- ▶ 午前中に文法A(2時間)、午後に文法B(2時間)の計4時間の文法をマンツーマン授業で行います。
- ▶ 金曜日はその週に勉強した文法の確認テストとその見直しの授業を行います。
- ▶ 1週目の月曜日は新入生はオリエンテーションの為、授業はありません。在校生でこのコースに入学した場合は文法の復習を行います。
- ▶ 最終日の午前中はマンツーマン授業で総復習、グループ授業で習熟度テストを受けます。午後はターム終了日のため、授業はございません。

		月	火	水	木	金
1週目	A	オリエンテーション (在校生は復習)	Units 1-4	Units 9-12	Units 16-18	確認テスト レビュー
	B		Units 5-8	Units 13-15	Units 19-21	確認テスト レビュー
2週目	A	Units 22-25	Units 30-33	Units 38-40	Units 45-48	確認テスト レビュー
	B	Units 26-29	Units 34-37	Units 41-44	Units 49-51	確認テスト レビュー
3週目	A	Units 52-55	Units 60-65	Units 71-74	Units 86-89	確認テスト レビュー
	B	Units 56-59	Units 66-70	Units 75-85	Units 90-93	確認テスト レビュー
4週目	A	Units 94-97	アチーブメント テスト	Units 104-106	Units 113-114	復習 習熟度テスト
	B	Units 98-101	Units 102-103	Units 107-112	Units 115-116	アクティビティ

コース参加の注意事項

- ▶ A・B・TOEICコースでお申し込みの方で、現地にてこちらのコースに参加する場合は、追加費用10,000ペソを学校にお支払頂きます。
- ▶ GコースやSコース・Iコースでお申し込みの方は追加費用のお支払いはございません。
- ▶ 教科書代は含まれておりません。学校でご購入ください。
- ▶ コースの開始はタームの開始日と合わせるため、ターム途中からの参加は出来ません。タームの開始日は右にございますターム開始日をご確認ください。
- ▶ ターム途中の入学日の学生や在校生でこのコースに参加したい場合は、翌タームまで待つことになります。
- ▶ このコースは1ターム(4週間)で終了するコースであり、再度、このコースを受講する場合であってもスケジュールや授業内容は同じものとなります。



	ターム開始入学日	
	2015年	2016年
1月	—	2日・30日
2月	—	27日
3月	—	26日
4月	25日	23日
5月	23日	21日
6月	20日	18日
7月	18日	16日
8月	15日	13日
9月	12日	10日
10月	10日	8日
11月	7日	5日
12月	5日	3日